

「災害から安登を守るんジャー」 防災マップ作りのための町歩き

2021年6月25日(金) 安登小学校3年生

安登小学校3年生の皆さんが、防災マップの作成のために4つのグループに分かれて地域（西日本豪雨等で被害を受けた場所、危険な箇所）を調査しました。調査結果を基に、防災マップ作りをするとのことでした。

防災教育の一環として行われたもので、私たち「安浦町防災リーダーネットワーク」のメンバーも地域の方たちと一緒に町歩きに参加しました。

グループ（歩いた地域）

- 中央ハイツ
- 跡 条
- 市 迫
- 奥条・小田野原

こちらの記事は、中国新聞と安登小学校の便り（AT0夢通信）に掲載されたものです。

西日本豪雨 3年

児童は、リーダーたちから「川があふれたらこの道を見て回った。」

3年生17人が4班に分かれ、自治会長や市防災リーダーと学区内を歩いた。奥条・小田野原地区は児童5人が調査。豪雨の際に氾濫した川や、土砂崩れ防止のために工事したのり面などを見て回った。

古宮武龍さん(8)は「小さな川も大雨が降ると危険になると分かった。もっと調べてみんなに伝えたい」と話した。

(仁科裕成)

危険箇所 歩いて確認

安浦の安登小 住民から学ぶ



市防災リーダーたちと地域を歩き、危険箇所などを調べる児童

西日本豪雨から3年となるのを前に、呉市安浦町の安登小児童が授業（総合的な学習）の一環で、住民たちと地域を歩き、危険箇所などを学んだ。

授業は25日であった。今後も学習を続け、成果を防災マップなどにまとめ発表する予定。

て在校生や地域の人たちに発表する予定。

2021年6月29日 中国新聞朝刊

郷土を愛する

No. 25

「災害から安登を守るんジャー」 “応援隊”

3年生は、「災害から安登を守るんジャー」として防災について学んでいます。自分や家族や地域の方々の命を守るためにどのようなことを知っておくべきか、現在、情報収集をしています。

6月25日(金)には、自治会長さんや地域の防災リーダーさんたちと、4カ所に分かれて、危険箇所の確認をしました。

跡条は清水さんと佐古さん、奥条・小田野原は枝長さんと森安さんと原岡さんと松山さんと河内さんと高田さん、市迫は萬谷さんと奥村さん、中央ハイツは井上さんと別所さんと真鍋さんと廣中さんに、地域の様子を教えてくださいました。大変ありがとうございました。これから、防災マップにまとめて、発表します。これからも“応援隊”として、3年生の応援をぜひよろしくお願いいたします！



「災害から安登を守るんジャー」の町歩き

町歩きの様子：跡条



町歩きの様子：市迫



町歩きの様子：小田野原、奥条

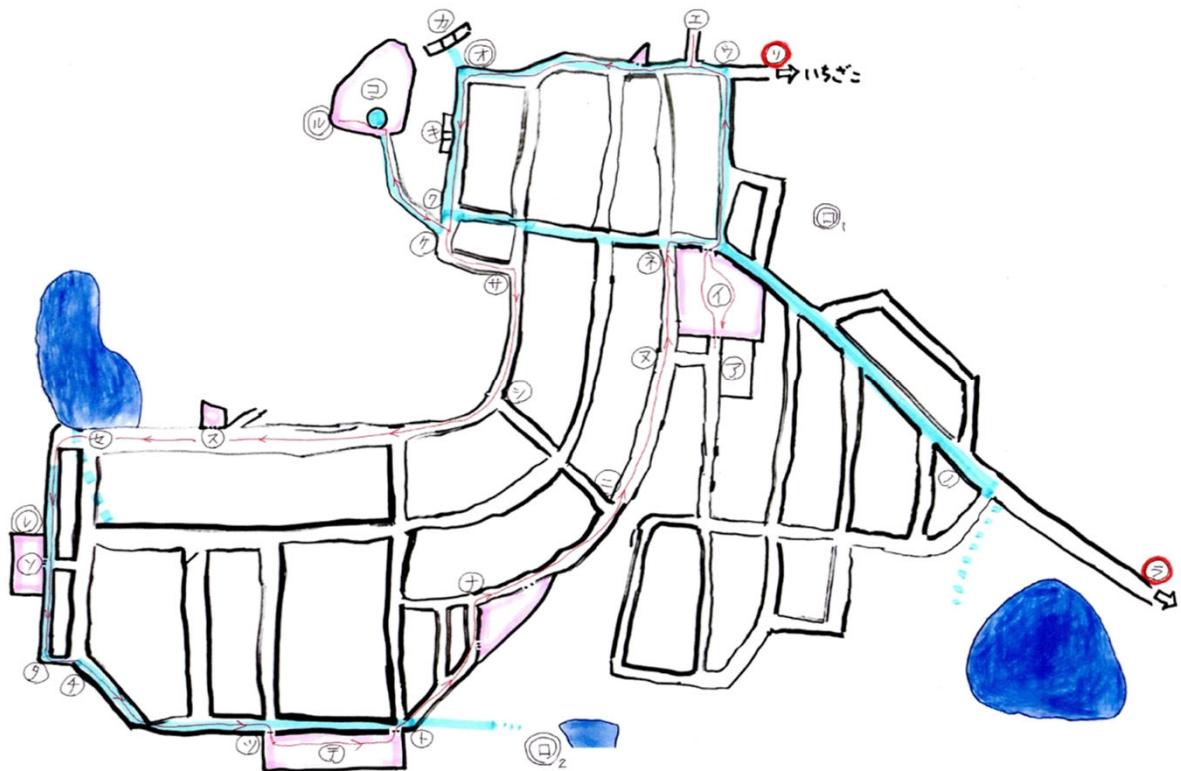


「災害から安登を守るんジャー」の町歩き

町歩きの様子：中央ハイツ



町歩きマップ（3年生が作成）の一例：中央ハイツの場合



(注) 赤色矢印(町歩きルート)、カタカナ(ポイント)、青色(メインの雨水の流れ)
ピンクの箇所(公園)は説明者が追記

航空写真(Google提供)で見る「中央ハイツ」 ■は大雨時の状況

